

秋月 城下町 MAP

秋月氏、黒田氏の栄華がひっそりと眠る城下町。約800年のさまざまな歴史と悲話を秘めている。まち並みは、武家屋敷や土塀、苔むした石垣、格子がつづき、まさに「筑前の小京都」。5万石城下町として栄えた秋月。今も古に逢えるまちです。平成10年4月に、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

秋月の年中行事

- | | |
|--|--------------------------|
| 1月 日照院虚空蔵祭(13日)
林流抱え大筒撃ち初め(成人の日) | 7月 お獅子入れ |
| 4月 初旬 桜の見頃
垂裕神社春祭り秋月どんたく(第1日曜日)
林流抱え大筒演式・光月流太鼓 | 9月 観月会
林流抱え大筒演式・光月流太鼓 |
| 5月 日限地藏院祭(5月4日) | 11月 下旬～12月上旬
黒門の紅葉の見頃 |
| | 12月 中旬 林流抱え大筒撃ち納め |

散策コースのご案内

- 1時間コース** 秋月駐車場⇒秋月郷土館⇒瓦坂⇒長屋門⇒黒門⇒米蔵跡(秋月駐車場)
- 3時間コース** 秋月駐車場⇒秋月郷土館⇒瓦坂⇒長屋門⇒黒門⇒垂裕神社⇒武家屋敷⇒石田家住宅⇒古心寺⇒恵利暢亮殉節碑⇒鳴渡観音⇒米蔵跡(秋月駐車場)
- 半日コース** 秋月駐車場⇒秋月郷土館⇒瓦坂⇒長屋門⇒黒門⇒垂裕神社⇒武家屋敷⇒西念寺⇒目鏡橋⇒田中天満宮⇒日限地藏院⇒古心寺⇒恵利暢亮殉節碑⇒鳴渡観音⇒米蔵跡(秋月駐車場)

朝倉市指定無形文化財 林流抱え大筒

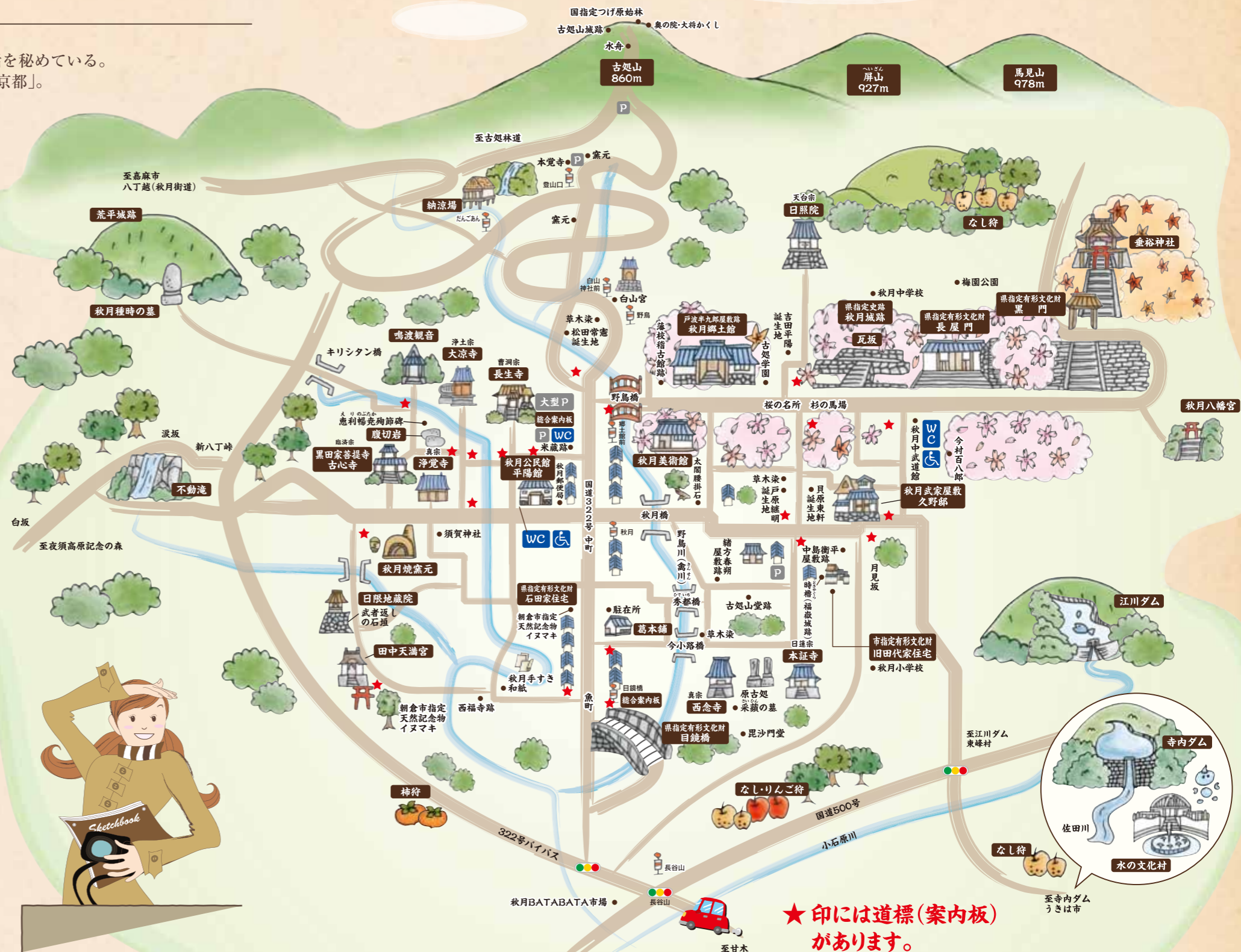


秋月藩は古来武勇を以て聞こえた藩といわれ、現在砲術は、秋月の大筒保存会に伝承されています。春祭りと秋の観月会、又、12月と1月に1年間の安全のお礼と安全を祈願して、秋月城跡の梅園公園で撃ち納めと撃ち初めが催されます。

朝倉市指定無形文化財 光月流太鼓



寛永元年(1624)に秋月黒田藩初代藩主長興が秋月城に入府の際、月光に照らされた家臣が打つ太鼓の撥の影から編み出された曲打ち太鼓です。



★印には道標(案内板)があります。

■古処山城跡

秋月種雄以来16代の本城。付近には国の特別天然記念物指定「つげ」の原始林がある。山の頂上には大将かくしや有名な奥の院があり、山の9合目には水舟がある。

■瓦坂

(旧館の表門に通ずるため)濠に橋がかけられている。この橋は瓦を縦に並べて土の流れを防ぐ工夫がされており瓦坂と呼ばれている。

■長屋門

正しくは内馬場裏御門。むかし側室の住むひと構えの屋敷があったが、この門はその通用門だったのである。県の文化財に指定されている。

■黒門

本来は御館の大手門である。そのはじめ、古処山城の搦手門であったが、黒田長興が入府するに当たり寛永元年(1624)この門を引いて御館の大手門にしたといわれ、県の文化財に指定されている。